

平成 28 年度	<b>都市整備部の取り組み実績</b>
	<部の構成> 都市計画課、景観住宅整備課、連続立体交差推進室、施設整備室、 開発指導室開発調整課、開発指導室開発審査課、開発指導室建築安全課

## 1. 重点施策・事業

### (1) 京阪本線連続立体交差事業

重点施策・事業 における目標	枚方公園駅付近から香里園駅付近(寝屋川市)までの延長約 5.5 キロメートル(うち枚方市域約 3.4 キロメートル)の鉄道高架の完成目標を平成 40 年度とし、平成 31 年度から鉄道高架工事に着手できるよう事業用地の取得について、専門的ノウハウを有する民間機関を活用しながら引き続き取り組んでいきます。	
平成 28 年度の 取り組み	京阪本線連続立体交差事業の用地取得業務に加え、光善寺駅周辺のまちづくり事業に向けた市街地再開発事業調査を開始し、駅前にふさわしいまちづくりの実現をめざします。  平成 28 年度当初予算：3,527,083 千円	
平成 28 年度の 実績	京阪本線連続立体交差事業の用地取得業務については、大阪府からの配当額をもって鋭意取り組みました。  また、光善寺駅周辺まちづくりに関しては、市街地再開発事業調査を行うとともに地元まちづくり協議会の活動に対し技術的支援を行いました。  このことにより再開発準備組合が設立されるはこびとなりました。  平成 28 年度決算：1,889,718 千円	
取り組みに対する達成状況		【 ○ 】

### (2) 都市計画マスタープランの改正及び立地適正化計画の作成

重点施策・事業 における目標	少子高齢化、人口減少の進展に対応し、持続可能な都市づくりを進めるため、将来の都市像を示す都市計画マスタープランを改定するとともに、住宅や都市機能の適正な立地の誘導を図るため、立地適正化計画を平成 28 年度末に策定します。
-------------------	---

平成 28 年度の 取り組み	<p>両計画の素案について、説明会や公聴会など市民意見を聴く場を設けたうえで、本市都市計画審議会に諮るなどの手続きを進め、平成 28 年度末に策定します。</p> <p>平成 28 年度当初予算：22,000 千円</p>
平成 28 年度の 実績	<p>両計画の素案を作成した上、説明会の開催や素案の閲覧、意見書の受付などを行った後、枚方市都市計画審議会の審議を経て両計画の改定及び作成を行いました。</p> <p>平成 28 年度決算：14,873 千円</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

### (3) 三世代家族の定住を促進

重点施策・事業 における目標	<p>少子高齢化・人口減少が進む中、市内在住の親世帯と子育て世帯や若年夫婦世帯が同居・近居するために住宅をリフォームまたは購入することに対して助成し、若年世代の市内転入及び定住を促進します。さらに、マイホーム借上げ制度の周知・普及により、高齢者の持ち家を子育て世帯等へ転貸することで空き家化を防ぎ、若年世代の市内転入を促進します。</p>
平成 28 年度の 取り組み	<p>補助の要件等を整理のうえ、同居のために持ち家をリフォームする費用に対して 1/2 以内で最大 30 万円、または同居・近居のための住宅取得費用に対して最大 30 万円を補助します。また、高齢者世帯や子育て世帯等が、それぞれの世帯にあった住宅への住みかえを支援するため、関係機関等との連携により、マイホーム借上げ制度の周知・普及に努めます。</p> <p>平成 28 年度当初予算：12,180 千円</p>
平成 28 年度の 実績	<p>三世代家族・定住促進補助金の制度を整備し、10 月 1 日の運用開始に先だち広報誌による周知及び市民等への説明会を実施しました。9 月より事前協議を始め、事前協議 43 件、交付申請 8 件を受付しました。</p> <p>また、一般社団法人 移住・住みかえ支援機構が運営する「マイホーム借上げ制度」について関係団体へ協力をお願いし、事業者向け制度説明会を実施しました。さらに市民への周知・普及のための制度説明会や個別相談会を実施しました。</p> <p>平成 28 年度決算：2,464 千円</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

#### (4) 総合文化施設の整備

重点施策・事業 における目標	文化芸術活動の新たな拠点となる総合文化施設について、プロポーザル（技術提案）により選定した設計事業者と連携し設計を進めます。	
平成 28 年度の 取り組み	設計業務について、基本設計を取りまとめ、実施設計に着手します。 平成 28 年度当初予算：100,000 千円	
平成 28 年度の 実績	総合文化施設の設計業務について、市民等の意見内容の反映や関係者との協議などで進捗が遅れましたが、平成 29 年度からの実施設計につながるよう設計事業者と連携し、基本設計の取りまとめを行いました。 平成 28 年度決算：2,729 千円	
取り組みに対する達成状況		【 ○ 】

#### (5) 公共施設の整備・保全

重点施策・事業 における目標	枚方保育所や枚方消防署中宮出張所の建替えをはじめ、新児童発達支援センターなどの整備を着実に進めるとともに、市有建築物を適正に維持保全するため、計画的に改修・更新工事を進めます。	
平成 28 年度の 取り組み	枚方保育所については、仮園舎の完成後に新たな園舎の建設に着手します。また、枚方消防署中宮出張所については、新たな同出張所の建設を進め年度内の完成をめざします。さらに新児童発達支援センターの整備に向けて設計業務に着手します。 市有建築物の維持保全については、市有建築物保全計画の「第Ⅱ期実施計画」に基づき、財政負担の平準化を図りながら、計画的に改修・更新工事を進めます。 平成 28 年度当初予算：1,370,652 千円（消防予算を含む。）	
平成 28 年度の 実績	枚方保育所については、仮園舎完成に引き続き新園舎の建設に着手し、平成 29 年 11 月末の完成を目指します。また、新児童発達支援センターについては、設計業務に着手し平成 30 年度の工事完了を目指します。なお、枚方消防署中宮出張所については年度末に完成しました。 市有建築物の維持保全については、市有建築物保全計画の「第Ⅱ期実施計画」に基づき、財政負担の平準化を図りながら、計画的に改修・更新工事を進めました。また、当該実施計画に基づき、平成 29 年度の改修・更新工事にかかる設計業務を実施しました。 平成 28 年度決算：1,215,659 千円（消防予算を含む。）	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

## 2. 行政改革・業務改善

### (1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	枚方市街地開発株式会社について、平成 26 年 10 月に策定した経営プランが着実に推進されるよう進捗管理を行う。
実績	平成 26 年 10 月に策定された経営プランが着実に推進されるよう進捗管理を行った。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

改革課題	取り組み内容・目標
29. 市有建築物の効率的・効果的な改修・更新工事	市有建築物保全計画の「第Ⅱ期実施計画」に基づく改修・更新工事について、「ESCO 事業」の導入を検討するなど、民間活力を活用しながら効率的・効果的に進める。
実績	市有建築物保全計画に基づく「輝きプラザきらら」及び「中央図書館」の老朽化した空調設備等の更新にあたり、ESCO 事業の導入による事業実施に向け、プロポーザル方式により事業者の選定を行った。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

### (2) 業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
迅速・効率的な窓口運営	窓口で縦覧に供している都市計画図書について、タッチパネル形式を用いた窓口システムを導入することで、市民の利便性の向上と職員の負担軽減を図る。
実績	窓口システムの導入により、都市計画情報の確実な運用を図るとともに迅速な窓口対応が可能となった。また、容易な操作性により来庁者による検索も可能となり、職員の負担軽減に寄与することができた。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

### 3. 予算編成・執行

- ◆連続立体交差事業関連まちづくり事業に国庫補助制度の積極的な活用を図ります。(国庫補助 予定額 250 万円)

実績	連続立体交差事業関連まちづくり事業について、国庫補助制度を活用し、光善寺駅西地区市街地再開発事業についての調査を実施しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆京阪本線連続立体交差事業の用地取得を迅速かつ円滑に進めるため、平成 28 年度の用地取得業務を引き続き民間機関を活用しながら進めます。(予算額 2 億 2000 万円)

実績	用地取得業務について、一般社団法人近畿建設協会枚方支所と委託契約を締結し業務を進めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

- ◆公共施設の整備・保全にあたっては、品質の向上とコストの低減をファシリティマネジメントの視点で取り組み、効果的な予算執行に努めます。

実績	公共施設の整備・保全に際し、品質向上を考慮しつつ、省エネルギー面で有用な照明や衛生器具などの資材を選定し、ライフサイクルコストの削減に繋げるとともに、保全にあたっては計画に基づいた予防保全に取り組むことにより、効率的・効果的な予算執行に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

### 4. 組織運営・人材育成

- ◆機構改革により部の担当事務が増加したことや、新規配属職員の部の業務内容の理解を深めるため、各課の業務内容をテーマに研修を行い、部内の相互理解を深め、職員の資質向上に努めます。

実績	都市整備部の運営方針に基づく各課の業務内容について取りまとめを行い、新規配属職員をはじめ部内職員で共有を図り相互理解を深めました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆京阪本線連続立体交差事業及び関連するまちづくりについては、関係者に対し職員・民間委託業者双方が満足度の高い説明、対応ができるよう、職員の資質向上、取り組みの進捗管理の徹底に努めます。

実績	<p>課内会議等において、進捗管理を図りながら各地区の課題を抽出し、業務に関する情報の共有化を図ることで権利者の理解を得られる説明、対応に繋げることができました。</p> <p>また、職員の資質向上のため、各団体主催の研修等に参加しました。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆開発指導、建築指導行政及び各種事業に係わる関連協議会や講習会に積極的に参加し、担当職員の資質向上に努めます。

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発指導や建築指導に係る研修会等への積極的な参加により、担当職員の専門知識の習得及び資質向上が図られました。（開発調整課）</li> <li>・近畿ブロック開発許可・宅地防災行政連絡協議会、大阪府開発許可宅地防災行政連絡協議会、近畿建築行政会議、大阪府内建築行政連絡協議会をはじめとする関連協議会、各種ワーキング等に積極的に参加し、また、改正建築物省エネ法に関する講習会、建築確認に関する研修会等にも積極的に参加したほか、熊本地震に伴う派遣要請にも応じ、本市に有事の際の対応力も含め、担当職員の資質向上に努めました。（開発審査課）</li> </ul>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆災害時において二次災害を防止するため、建築物や宅地の安全確認を行う危険度判定士や被災建築物応急危険度判定コーディネーターの資格取得者の増員を図ります。

実績	<p>被災宅地危険度判定士として11名が新規に資格を取得、11名が資格を更新しました。また、被災建築物応急危険度判定士として10名が資格を更新しました。これにより職員の危機管理意識の向上を図ることができました。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆住宅施策等に関し、国・府・公社・UR等、様々な関係機関との連携が必要であるため、情報の共有化や意見調整を図るなど、効果的・効率的な業務執行を行います。

実績	<p>URの市内団地建替事業に関して、関係課協議により調整を行いました。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

## 5. 広報・情報発信

- ◆屋外広告物の新たな規制・誘導基準について、関連団体等へ広く周知すると共に普及啓発に努めます。

実績	屋外広告物の基準について、市・関係団体の広報紙に掲載し、概要資料を許可申請者、関係団体の会員等に配布するなど周知及び普及啓発を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆公開対象となっている会議録や計画策定に関する情報については、随時ホームページ等を活用した情報発信に努め、きめ細かな行政サービスに取り組んでいきます。

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画の決定・変更に係る説明会等の開催にあたっては、本市広報紙及びホームページ等を活用し周知を図るとともに、内容説明に際しては、パワーポイントの使用や概要版の配布など、理解し易い説明を行いました。また、会議録等の公表資料については、迅速な情報提供に努めました。(都市計画課)</li> <li>・審議会の会議資料を会議後速やかにホームページに公開するとともに、会議録を業務委託により効率的に作成し、作成後速やかにホームページに公開することで、きめ細やかな情報発信を行いました。(景観住宅整備課)</li> </ul>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	